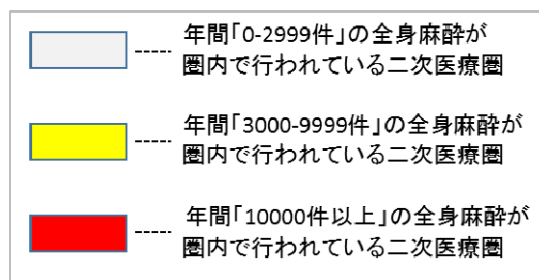
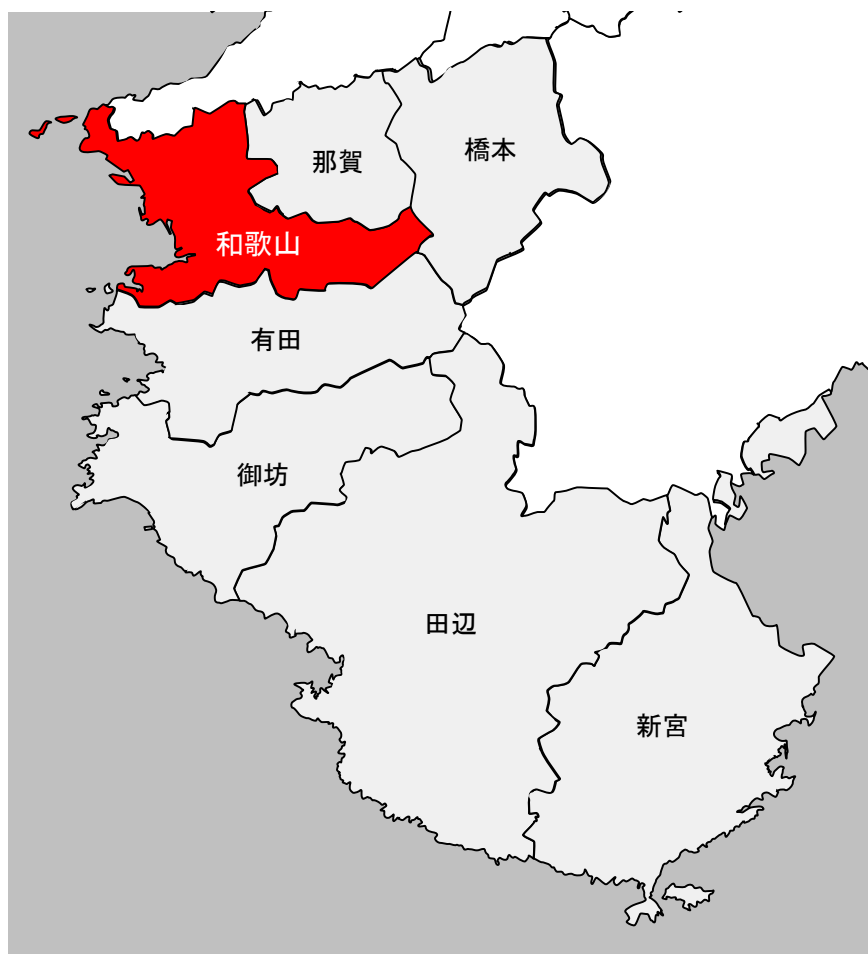


30. 和歌山県



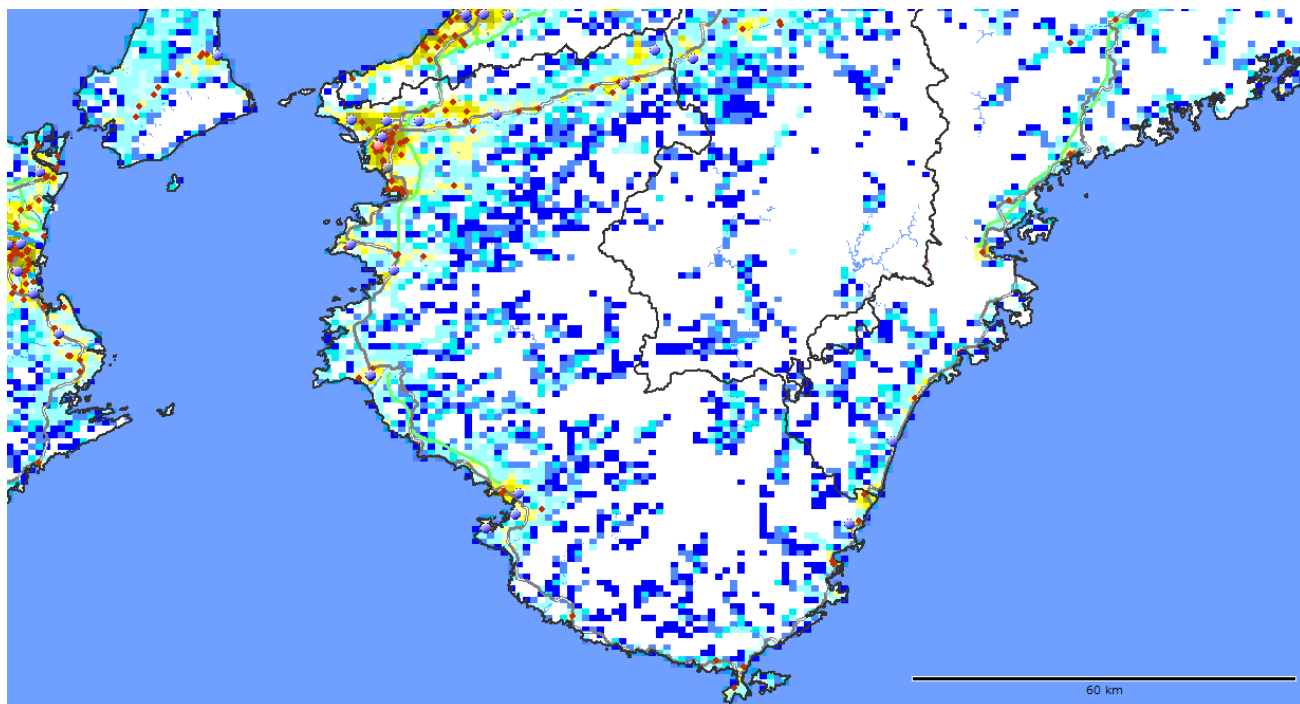
30. 和歌山県

目次

和歌山県.....	30 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	30 - 7
1. 和歌山医療圏.....	30 - 15
2. 那賀医療圏.....	30 - 19
3. 橋本医療圏.....	30 - 23
4. 有田医療圏.....	30 - 27
5. 御坊医療圏.....	30 - 31
6. 田辺医療圏.....	30 - 35
7. 新宮医療圏.....	30 - 39

30. 和歌山県

人口分布¹ (1 km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 和歌山県を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(和歌山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 和歌山県は、総人口約 961 千人(2015 年推計)、面積 4726 km²、人口密度は 203 人/km²である。

*人口の将来予測： 和歌山県の総人口は 2025 年に 869 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 719 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 153 千人が、2025 年にかけて 184 千人へと増加し(2015 年比+20%)、2040 年には 173 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 和歌山県の一人当たり医療費(国保)は 314 千円(偏差値 51)、介護給付費は 296 千円(偏差値 62)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 和歌山県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.18 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 54(病院医師数 52、診療所医師数 58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 54 とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 59 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 53 とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 48 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 67 で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 和歌山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、14483 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 9765 床(偏差値 54)、高齢者住宅等が 4718 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12756 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 54、介護療養型医療施設 50、有料老人ホーム 40、軽費ホーム 48、グループホーム 50、サ高住 57 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 54 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 54 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、4076 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 75)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は12199床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は9500床であり、その差は-2699床(-22%)である。

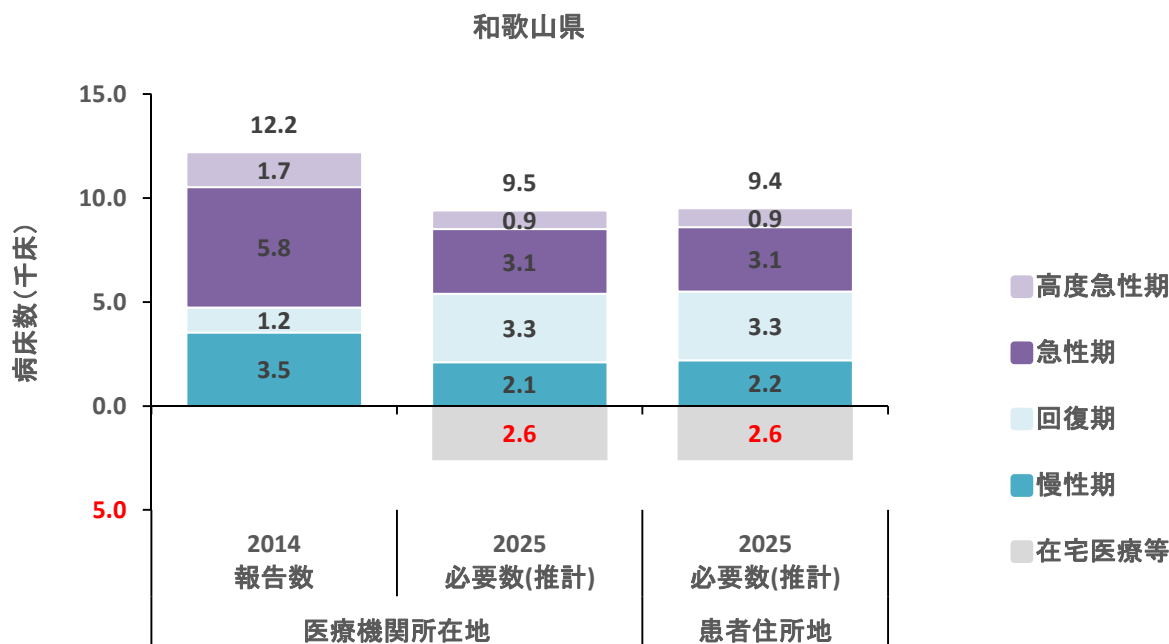
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1684床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は900床であり、その差は-784床(-47%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は5776床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3100床であり、その差は-2676床(-46%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は1199床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3300床であり、その差は+2101床(+175%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は3540床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2100床であり、その差は-1440床(-41%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は2600人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は±0%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

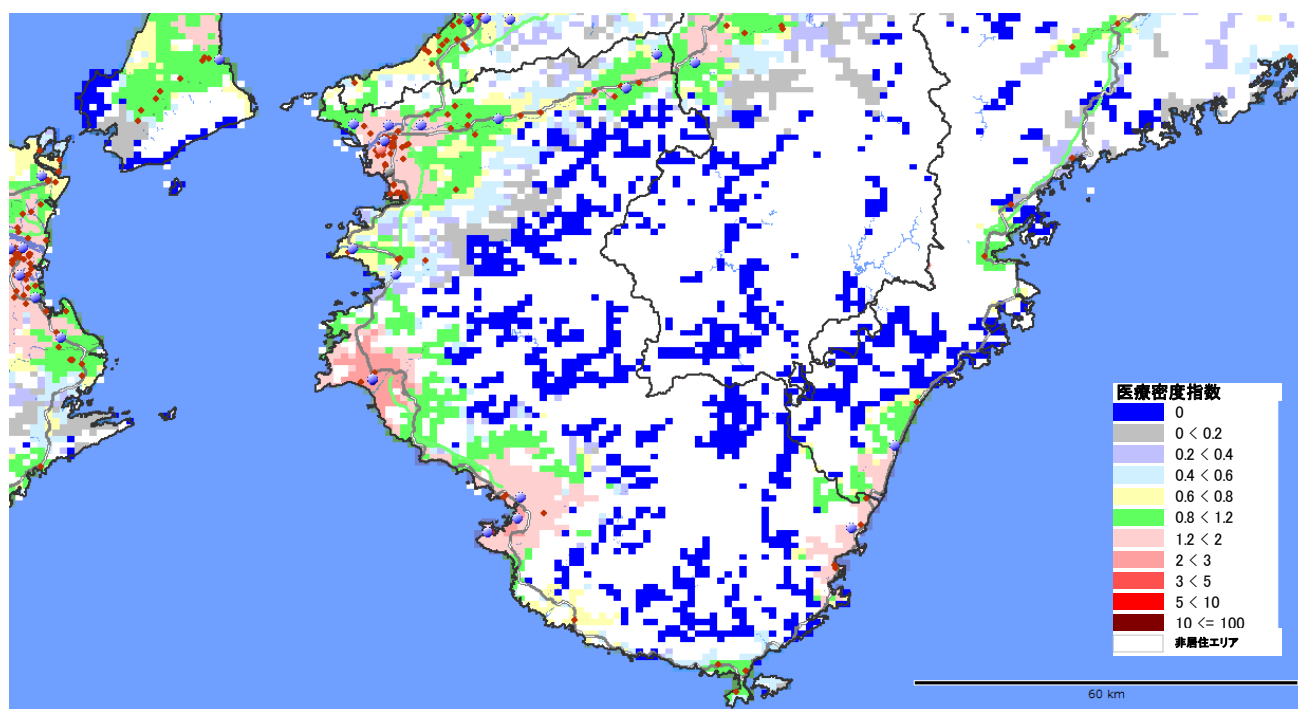
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

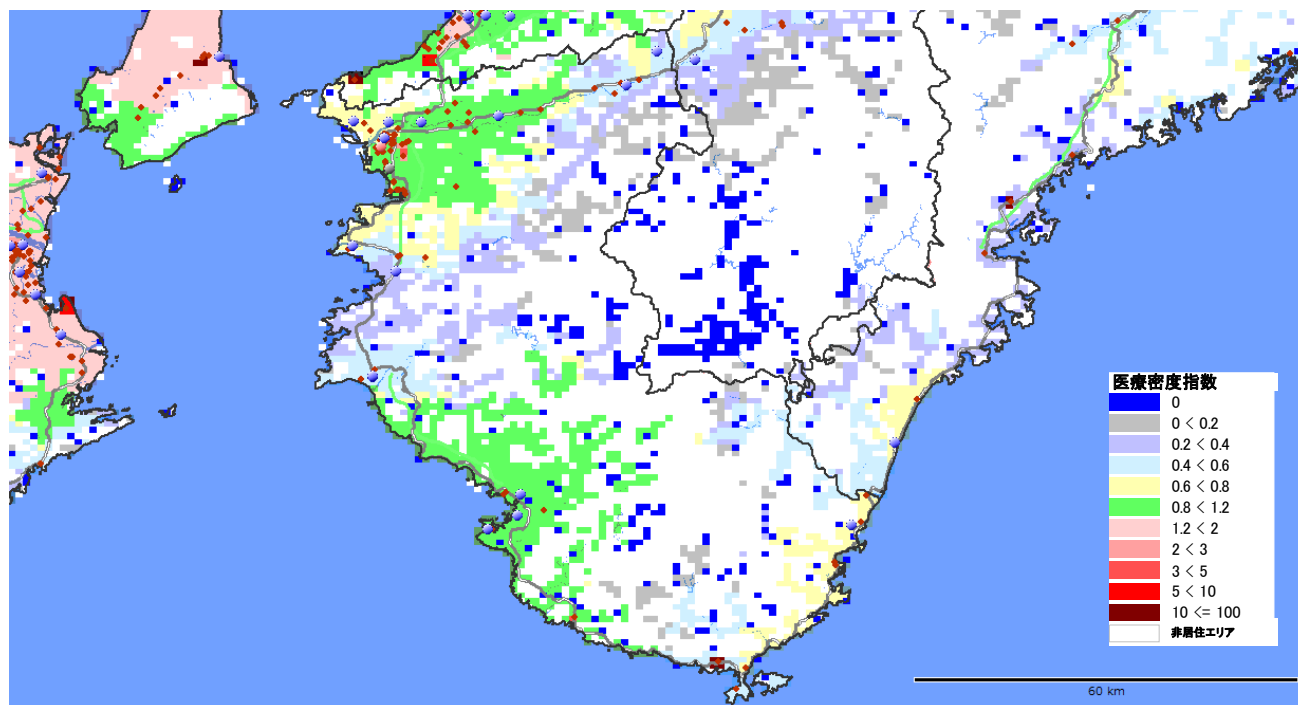
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 30-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
和歌山県	961	40位	4,726	30位	203.4		31%	869	719	153	184	173	-10%	-17%	20%	-6%
和歌山	421	44%	439	9%	959.6	地方都市型	31%	384	321	64	79	72	-9%	-16%	23%	-9%
那賀	117	12%	267	6%	438.1	地方都市型	26%	111	97	15	19	21	-5%	-13%	27%	11%
橋本	89	9%	463	10%	191.5	地方都市型	31%	79	63	14	17	17	-11%	-20%	21%	0%
有田	74	8%	475	10%	156.1	過疎地域型	32%	65	52	13	14	14	-12%	-20%	8%	0%
御坊	64	7%	579	12%	110.1	過疎地域型	32%	57	47	11	12	12	-11%	-18%	9%	0%
田辺	129	13%	1,580	33%	81.5	過疎地域型	32%	116	96	22	25	24	-10%	-17%	14%	-4%
新宮	68	7%	923	20%	73.8	過疎地域型	40%	58	43	15	16	13	-15%	-26%	7%	-19%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 30-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
和歌山県	1.24	1.18	-0.3%	-20.9%	-14.0%
和歌山	1.44	0.79	-11.0%	-38.6%	-26.5%
那賀	0.86	0.46	-11.8%	-49.6%	-62.0%
橋本	0.93	0.89	-7.5%	-32.3%	-29.5%
有田	0.58	0.34	12.0%	0.5%	5.8%
御坊	1.73	1.77	12.9%	5.4%	9.2%
田辺	1.34	1.91	1.3%	-12.8%	-9.5%
新宮	1.09	1.28	-13.9%	-25.6%	-3.6%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

30. 和歌山県

資_図表 30-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
和歌山県	314	51	296	62
和歌山	350	60	301	64
那賀	308	49	274	57
橋本	334	56	304	64
有田	292	46	279	58
御坊	312	50	298	63
田辺	277	42	306	65
新宮	342	58	279	58
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 30-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
和歌山県	86	1.0%	8.9	55	1,079	1.1%	112	67
和歌山	45	52%	10.7	59	525	49%	125	73
那賀	8	9%	6.8	50	106	10%	91	56
橋本	6	7%	6.8	50	95	9%	107	64
有田	6	7%	8.1	53	78	7%	105	63
御坊	4	5%	6.3	49	69	6%	108	65
田辺	9	10%	7.0	51	131	12%	102	61
新宮	8	9%	11.7	62	75	7%	110	66
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 30-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床				有床			
					診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
和歌山県	1,079	1.1%	112	67	959	1.1%	100	65	120	1.3%	12.5	57
和歌山	525	49%	125	73	476	50%	113	72	49	41%	11.6	56
那賀	106	10%	91	56	92	10%	79	54	14	12%	12.0	57
橋本	95	9%	107	64	86	9%	97	63	9	8%	10.1	54
有田	78	7%	105	63	72	8%	97	63	6	5%	8.1	51
御坊	69	6%	108	65	61	6%	96	62	8	7%	12.5	58
田辺	131	12%	102	61	116	12%	90	60	15	13%	11.7	56
新宮	75	7%	110	66	56	6%	82	55	19	16%	27.9	79
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 30-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所				病院+			
					診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
和歌山県	13,850	0.9%	1,441	54	1,612	1.3%	168	56	15,462	0.9%	1,608	55
和歌山	6,693	48%	1,590	57	677	42%	161	56	7,370	48%	1,751	57
那賀	1,214	9%	1,039	46	192	12%	164	56	1,406	9%	1,203	48
橋本	896	6%	1,010	45	121	8%	136	54	1,017	7%	1,146	47
有田	931	7%	1,256	50	81	5%	109	51	1,012	7%	1,366	50
御坊	1,011	7%	1,585	57	120	7%	188	58	1,131	7%	1,773	58
田辺	1,828	13%	1,420	53	198	12%	154	55	2,026	13%	1,574	54
新宮	1,277	9%	1,873	62	223	14%	327	71	1,500	10%	2,200	65
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 30-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養				精神			
					療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神病 床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
和歌山県	8,736	1.0%	909	59	2,794	0.9%	291	51	2,215	0.7%	230	48
和歌山	4,584	52%	1,089	66	1,163	42%	276	51	885	40%	210	47
那賀	660	8%	565	44	329	12%	282	51	221	10%	189	46
橋本	708	8%	798	54	64	2%	72	41	120	5%	135	44
有田	382	4%	516	42	245	9%	331	53	300	14%	405	56
御坊	836	10%	1,311	76	51	2%	80	42	100	5%	157	45
田辺	1,009	12%	784	53	561	20%	436	58	254	11%	197	47
新宮	557	6%	817	55	381	14%	559	64	335	15%	491	60
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

30. 和歌山県

資_図表 30-8 回復期リハビリ病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)
和歌山県	798	1.1%	83	55
和歌山	434	54%	103	60
那賀	94	12%	80	55
橋本	90	11%	101	59
有田	40	5%	54	49
御坊	45	6%	71	53
田辺	95	12%	74	53
新宮	0	0%	0	37
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月			

資_図表 30-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
和歌山県	22,284	0.9%	2,318	53	8,160	0.8%	849	50
和歌山	15,384	69%	3,654	67	3,972	49%	943	54
那賀	1,092	5%	934	38	228	3%	195	28
橋本	900	4%	1,014	39	1,044	13%	1,177	62
有田	660	3%	891	38	504	6%	680	45
御坊	1,044	5%	1,637	46	672	8%	1,054	57
田辺	2,580	12%	2,004	50	1,104	14%	858	51
新宮	624	3%	915	38	636	8%	933	53
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 30-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
和歌山県	2,819	0.9%	293	54	1,669	0.8%	174	52	1,150	0.9%	120	58
和歌山	1,589	56%	378	63	1,013	61%	241	62	576	50%	137	63
那賀	212	8%	182	41	103	6%	88	39	109	9%	93	49
橋本	219	8%	246	49	107	6%	121	44	111	10%	125	60
有田	145	5%	196	43	68	4%	92	39	77	7%	104	53
御坊	158	6%	248	49	86	5%	135	46	72	6%	112	55
田辺	317	11%	246	49	187	11%	145	47	130	11%	101	52
新宮	179	6%	262	50	104	6%	153	48	75	6%	109	54
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 30-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
和歌山県	9,284	0.9%	966	54	7,726	0.9%	804	54	1,559	0.9%	162	53
和歌山	4,674	50%	1,110	59	3,993	52%	948	60	681	44%	162	53
那賀	794	9%	679	44	566	7%	485	41	228	15%	195	57
橋本	649	7%	731	46	490	6%	552	44	159	10%	179	55
有田	560	6%	756	47	492	6%	664	48	68	4%	92	43
御坊	688	7%	1,078	58	603	8%	945	60	85	5%	134	49
田辺	1,242	13%	965	54	1,033	13%	803	54	208	13%	162	53
新宮	679	7%	995	55	550	7%	806	54	129	8%	190	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 30-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
和歌山県	993	0.9%	103	53	2,192	0.8%	228	51
和歌山	477	48%	113	55	1,254	57%	298	58
那賀	96	10%	82	49	194	9%	166	44
橋本	98	10%	111	55	199	9%	224	50
有田	60	6%	81	49	132	6%	178	45
御坊	87	9%	136	60	125	6%	196	47
田辺	130	13%	101	53	181	8%	141	41
新宮	46	5%	67	46	107	5%	157	43
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 30-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
和歌山県	162	1.1%	1.1	54	13	1.3%	0.1	54
和歌山	90	56%	1.4	62	6	46%	0.1	55
那賀	20	12%	1.4	61	4	31%	0.3	86
橋本	23	14%	1.7	67	0	0%	0	39
有田	3	2%	0.2	36	2	15%	0.2	66
御坊	8	5%	0.7	47	0	0%	0	39
田辺	11	7%	0.5	42	1	8%	0.0	47
新宮	7	4%	0.5	41	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

30. 和歌山県

資_図表 30-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
和歌山県	14,483	0.9%	95	50	9,765	1.0%	64	54	4,718	0.8%	31	46
和歌山	6,251	43%	98	52	3,458	35%	54	47	2,793	59%	44	55
那賀	1,258	9%	87	45	951	10%	65	55	307	7%	21	39
橋本	1,217	8%	87	45	957	10%	69	58	260	6%	19	37
有田	1,282	9%	101	53	892	9%	70	59	390	8%	31	46
御坊	1,136	8%	103	54	924	9%	83	69	212	4%	19	38
田辺	2,214	15%	100	53	1,621	17%	73	61	593	13%	27	43
新宮	1,125	8%	77	39	962	10%	66	56	163	3%	11	32
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 30-15 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
和歌山県	3,447	1.0%	23	52	5,694	1.1%	37	54	624	0.9%	4.1	50
和歌山	1,379	40%	22	50	1,842	32%	29	46	237	38%	3.7	49
那賀	284	8%	20	46	570	10%	39	56	97	16%	6.7	56
橋本	357	10%	26	57	590	10%	42	59	10	2%	0.7	42
有田	292	8%	23	52	600	11%	47	64	0	0%	0	40
御坊	284	8%	26	57	630	11%	57	74	10	2%	0.9	42
田辺	553	16%	25	56	854	15%	39	56	214	34%	9.7	63
新宮	298	9%	20	48	608	11%	42	59	56	9%	3.8	49
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
和歌山県	430	0.2%	2.8	40	136	0.7%	0.9	48	1,739	0.9%	11.4	50
和歌山	363	84%	5.7	43	26	19%	0.4	46	914	53%	14.4	55
那賀	0	0%	0	37	0	0%	0	43	152	9%	10.5	48
橋本	0	0%	0	37	30	22%	2.2	55	108	6%	7.8	44
有田	0	0%	0	37	30	22%	2.4	56	162	9%	12.7	52
御坊	0	0%	0	37	50	37%	4.5	67	106	6%	9.6	47
田辺	67	16%	3.0	40	0	0%	0	43	198	11%	9.0	46
新宮	0	0%	0	37	0	0%	0	43	99	6%	6.8	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
和歌山県	2,413	1.3%	15.8	57	120	1.3%	0.8	52	2,293	1.3%	15.0	57
和歌山	1,490	62%	23.4	69	26	22%	0.4	49	1,464	64%	23.0	71
那賀	155	6%	10.7	49	0	0%	0	45	155	7%	10.7	50
橋本	122	5%	8.8	46	0	0%	0	45	122	5%	8.8	46
有田	198	8%	15.6	56	94	78%	7.4	105	104	5%	8.2	45
御坊	56	2%	5.1	40	0	0%	0	45	56	2%	5.1	40
田辺	328	14%	14.9	55	0	0%	0	45	328	14%	14.9	57
新宮	64	3%	4.4	38	0	0%	0	45	64	3%	4.4	39
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
和歌山県	1,590	1.0%	10.4	54	1,125	1.0%	7.4	51	465	1.2%	3.0	60
和歌山	616	39%	9.7	51	412	37%	6.5	47	204	44%	3.2	62
那賀	173	11%	11.9	60	111	10%	7.6	53	62	13%	4.3	75
橋本	145	9%	10.4	54	99	9%	7.1	50	46	10%	3.3	62
有田	110	7%	8.6	47	80	7%	6.3	46	30	6%	2.3	51
御坊	109	7%	9.9	52	86	8%	7.8	53	23	5%	2.1	48
田辺	286	18%	13.0	64	222	20%	10.1	63	64	14%	2.9	58
新宮	152	10%	10.4	54	116	10%	7.9	54	36	8%	2.4	52
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （介護施設 等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
和歌山県	16,833	1.2%	110	64	12,756	1.0%	84	56	4,076	1.9%	26.7	75
和歌山	7,160	43%	113	66	5,141	40%	81	54	2,020	50%	31.7	84
那賀	1,544	9%	106	62	1,145	9%	79	53	399	10%	27.5	76
橋本	1,453	9%	104	60	1,178	9%	85	57	275	7%	19.7	62
有田	1,328	8%	104	60	1,145	9%	90	60	183	4%	14.4	52
御坊	1,277	8%	115	67	1,115	9%	101	68	162	4%	14.7	53
田辺	2,428	14%	110	64	1,851	15%	84	56	576	14%	26.1	74
新宮	1,643	10%	112	65	1,182	9%	81	54	461	11%	31.6	84
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

30. 和歌山県

資_図表 30-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	訪問看護 利用者数			訪問介護 利用者数							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
和歌山県	10,288	1.4%	67	59	5,043	1.4%	33	63	23,054	1.6%	151	71
和歌山	4,986	48%	78	64	1,588	31%	25	54	11,597	50%	182	82
那賀	1,365	13%	94	70	398	8%	27	57	1,338	6%	92	52
橋本	912	9%	65	59	575	11%	41	72	1,999	9%	144	69
有田	428	4%	34	45	216	4%	17	45	1,245	5%	98	54
御坊	775	8%	70	61	486	10%	44	75	877	4%	79	48
田辺	1,210	12%	55	54	1,267	25%	57	89	3,452	15%	156	73
新宮	612	6%	42	49	513	10%	35	65	2,546	11%	174	79
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 30-21 公的病院病床数、民間病院病床数

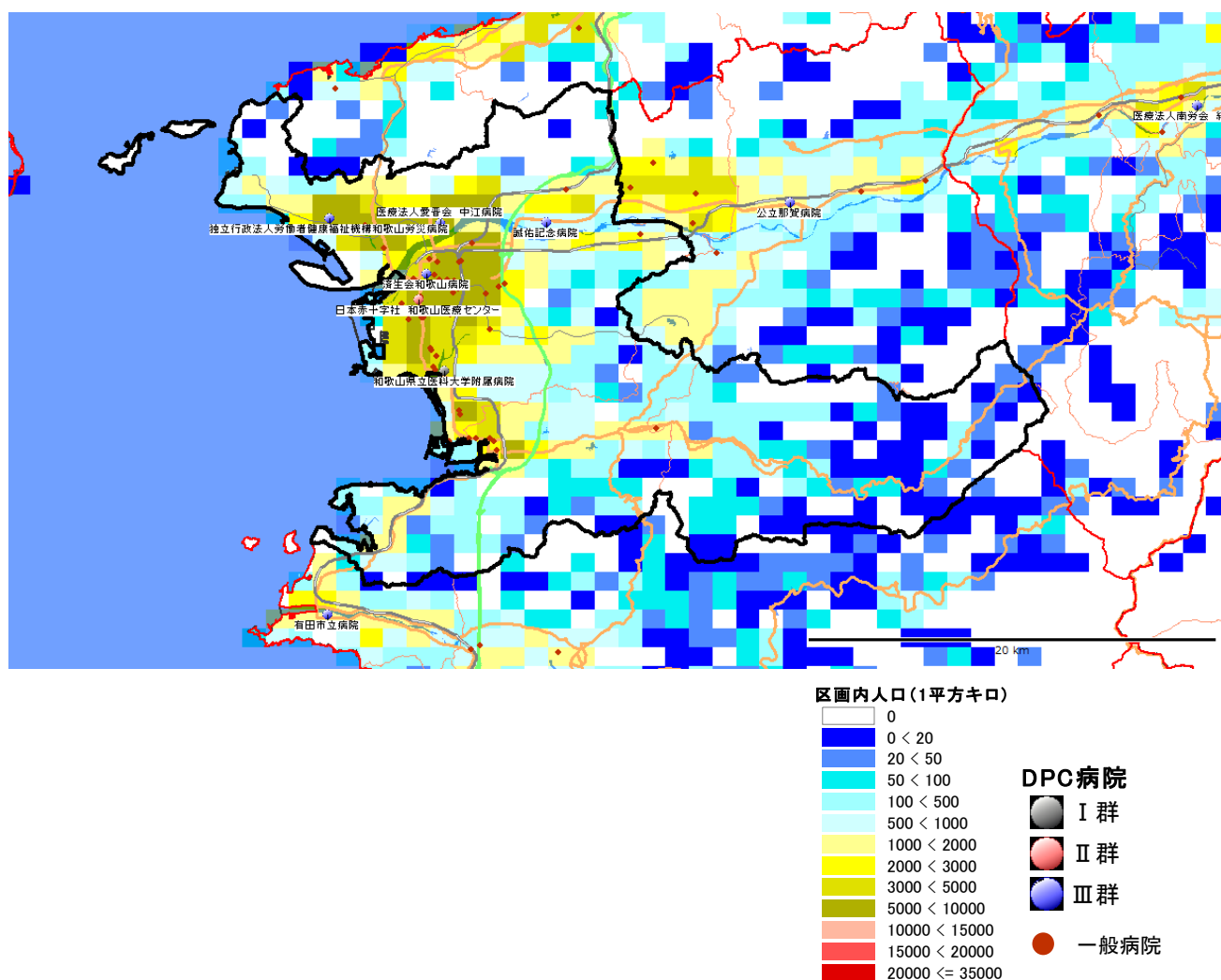
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
和歌山県	6,863	5,526	494	6,845	3,206	2,278	63.3%	55	17.8%	54
和歌山	2,801	2,486	114	3,819	2,085	1,049	54.4%	51	9.8%	50
那賀	440	436	0	774	224	329	66.1%	56	0.0%	46
橋本	404	400	0	492	269	103	59.8%	53	0.0%	46
有田	641	257	80	290	135	155	65.6%	56	34.0%	61
御坊	729	605	0	282	231	51	72.4%	58	0.0%	46
田辺	1,264	862	200	495	150	345	85.2%	64	36.7%	62
新宮	584	480	100	693	112	246	81.1%	62	28.9%	59
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

わ か や ま

30-1. 和歌山医療圏

構成市区町村¹ 和歌山市,海南市,紀美野町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 和歌山医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(和歌山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 和歌山(和歌山市)は、総人口約 421 千人(2015 年推計)、面積 439 km²、人口密度は 960 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 和歌山の総人口は 2025 年に 384 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 321 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 64 千人が、2025 年にかけて 79 千人へと増加し(2015 年比+23%)、2040 年には 72 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 和歌山の一人当たり医療費(国保)は 350 千円(偏差値 60)、介護給付費は 301 千円(偏差値 64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 和歌山の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.44、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.79 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 63(病院医師数 62、診療所医師数 63)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 66 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 67 と非常に多い。和歌山には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の和歌山医療センター(Ⅱ群・救命)、和歌山県立医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)、1000 例以上の和歌山労災病院、500 例以上の済生会和歌山病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 55 とやや多く、回復期病床数は偏差値 60 と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 47 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 73 で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 和歌山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6251 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 3458 床(偏差値 47)、高齢者住宅等が 2793 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5141 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 49、有料老人ホーム 43、軽費ホーム 46、グループホーム 55、サ高住 69 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 62 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 55 とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、2020 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 84)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

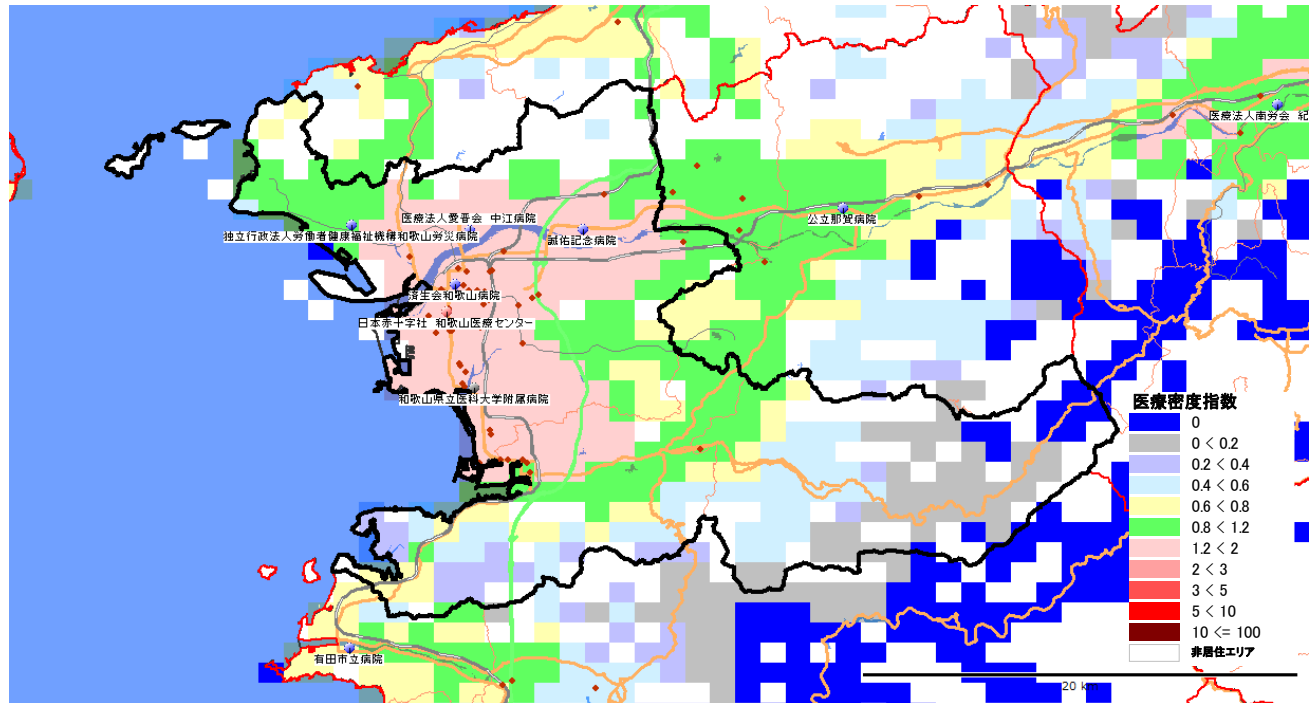
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－11%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－26%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

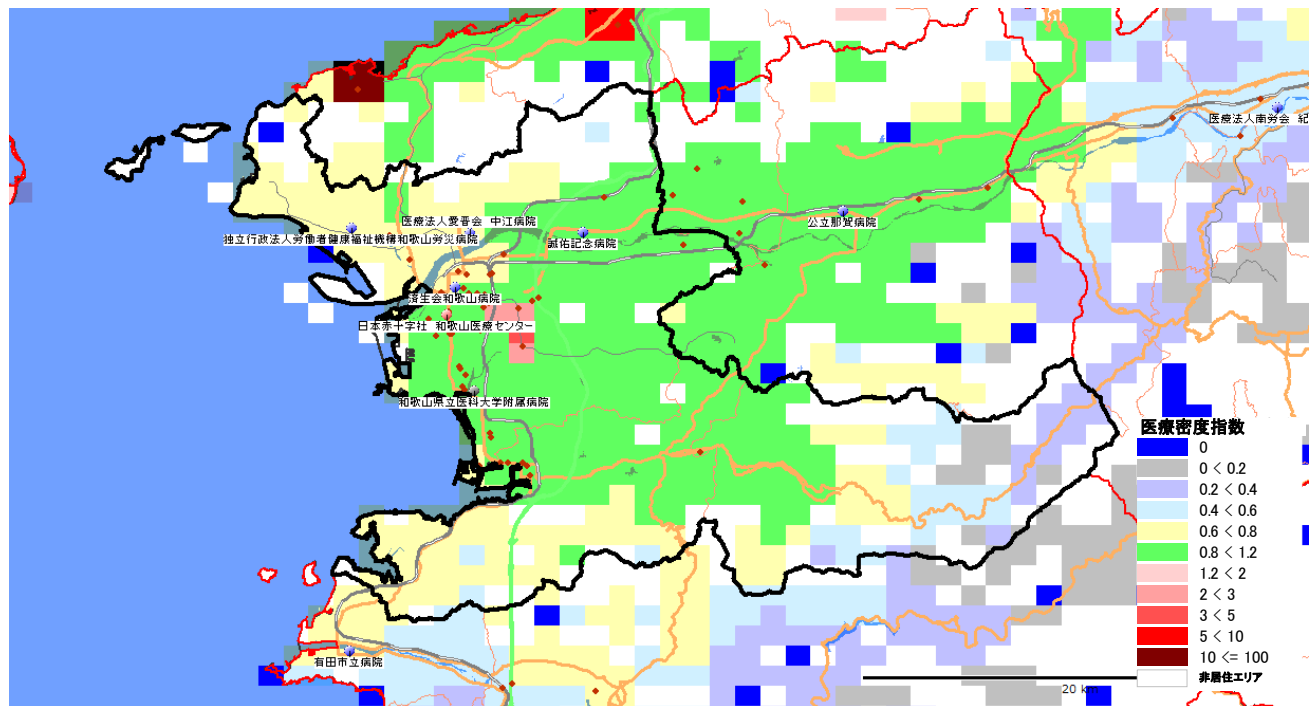
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-1-2 慢性期医療密度指数マップ

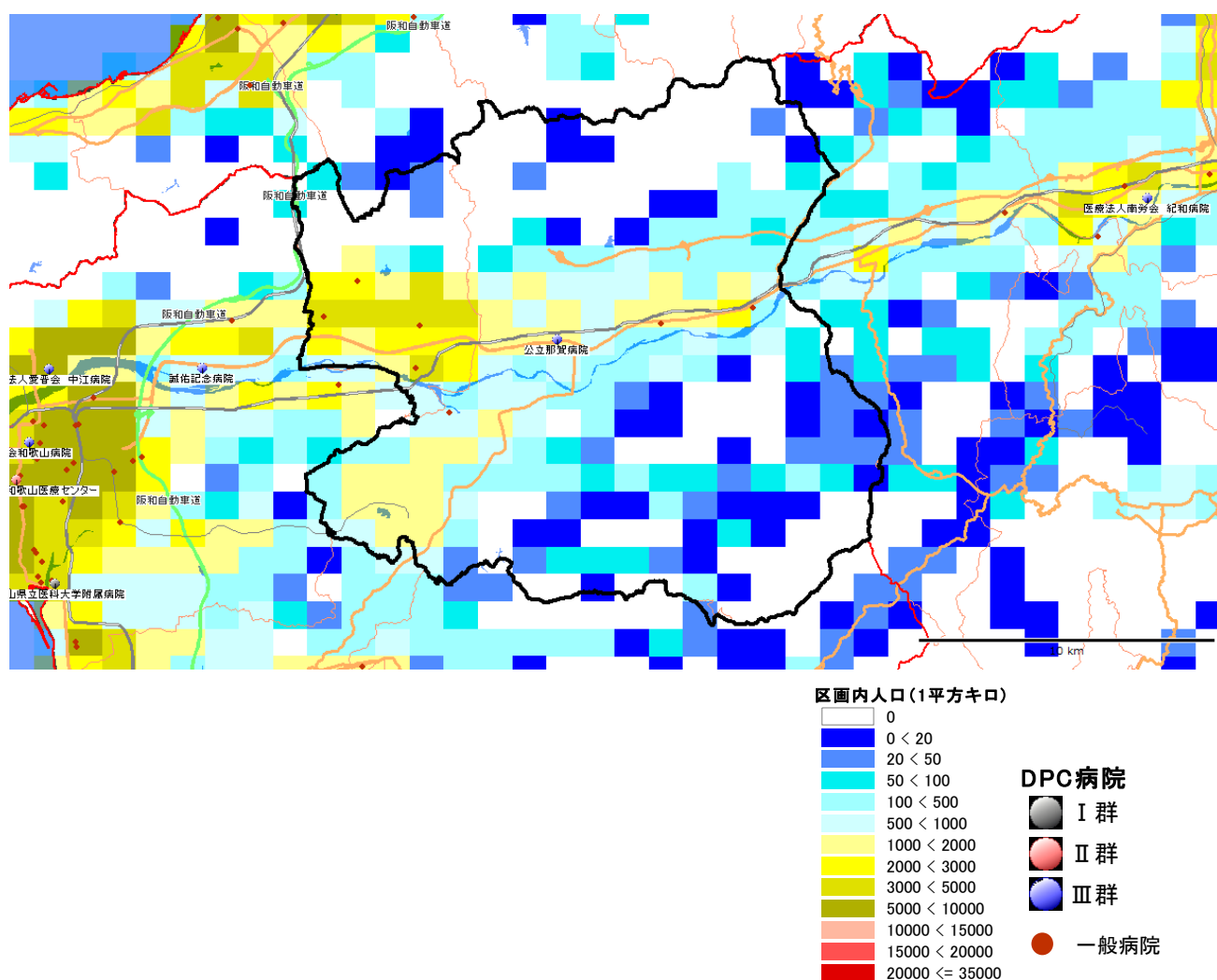


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

30-2. なが 那賀医療圏

構成市区町村¹ [紀の川市](#),[岩出市](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 那賀医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(那賀医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 那賀(紀の川市)は、総人口約 117 千人(2015 年推計)、面積 267 km²、人口密度は 438 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 那賀の総人口は 2025 年に 111 千人へと減少し(2015 年比-5%)、2040 年に 97 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 15 千人が、2025 年にかけて 19 千人へと増加し(2015 年比+27%)、2040 年には 21 千人へと増加する(2025 年比+11%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 那賀の一人当たり医療費(国保)は 308 千円(偏差値 49)、介護給付費は 274 千円(偏差値 57)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 那賀の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.46 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 41(病院医師数 39、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 44 と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 44 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。那賀には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の公立那賀病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 49 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 46 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 56 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 那賀の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1258 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 951 床(偏差値 55)、高齢者住宅等が 307 床(偏差値 39)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1145 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 56、介護療養型医療施設 56、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 48、サ高住 49 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 61 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 86 と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、399 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 76)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

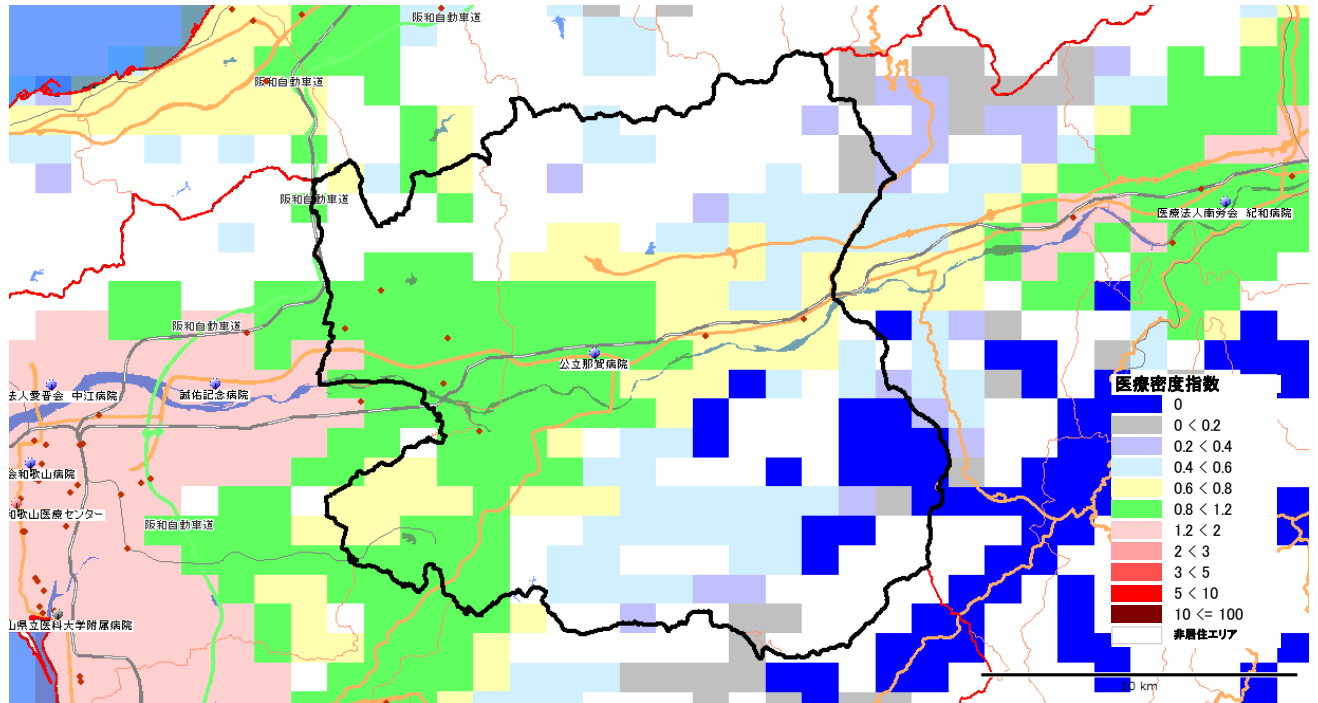
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は－12%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－62%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

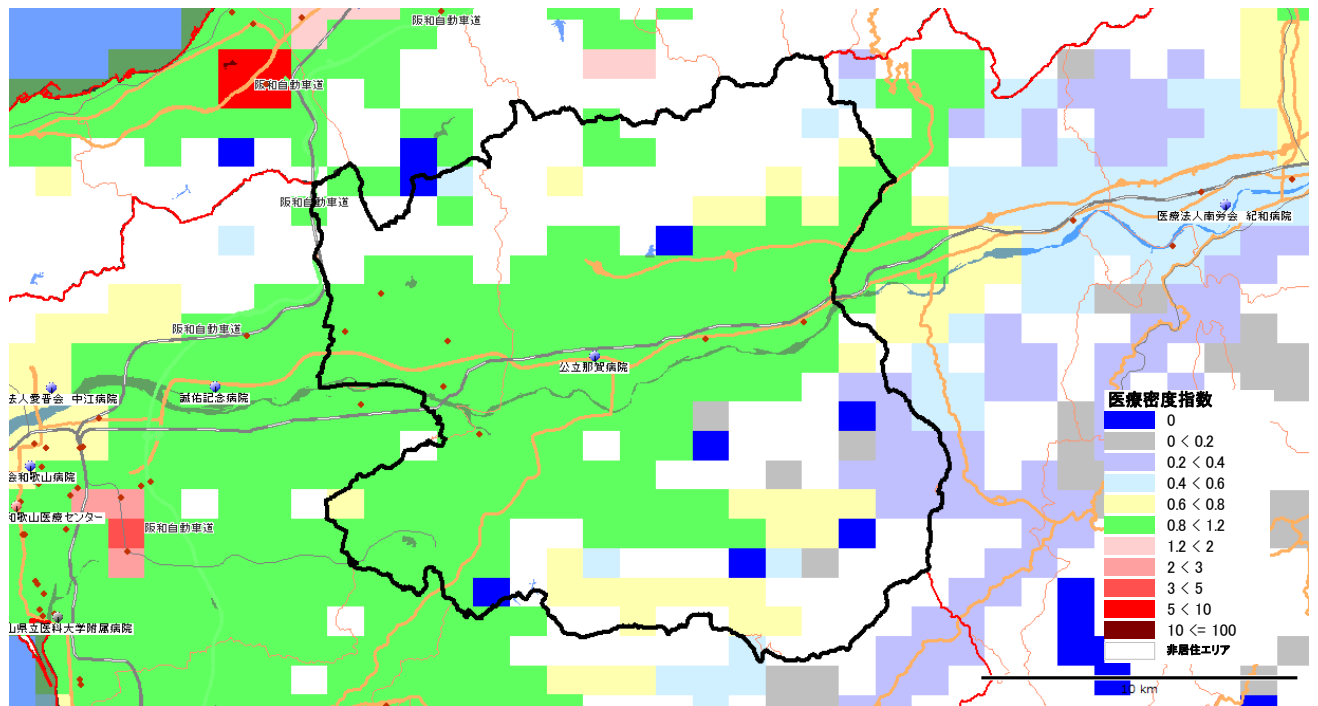
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-2-2 慢性期医療密度指数マップ

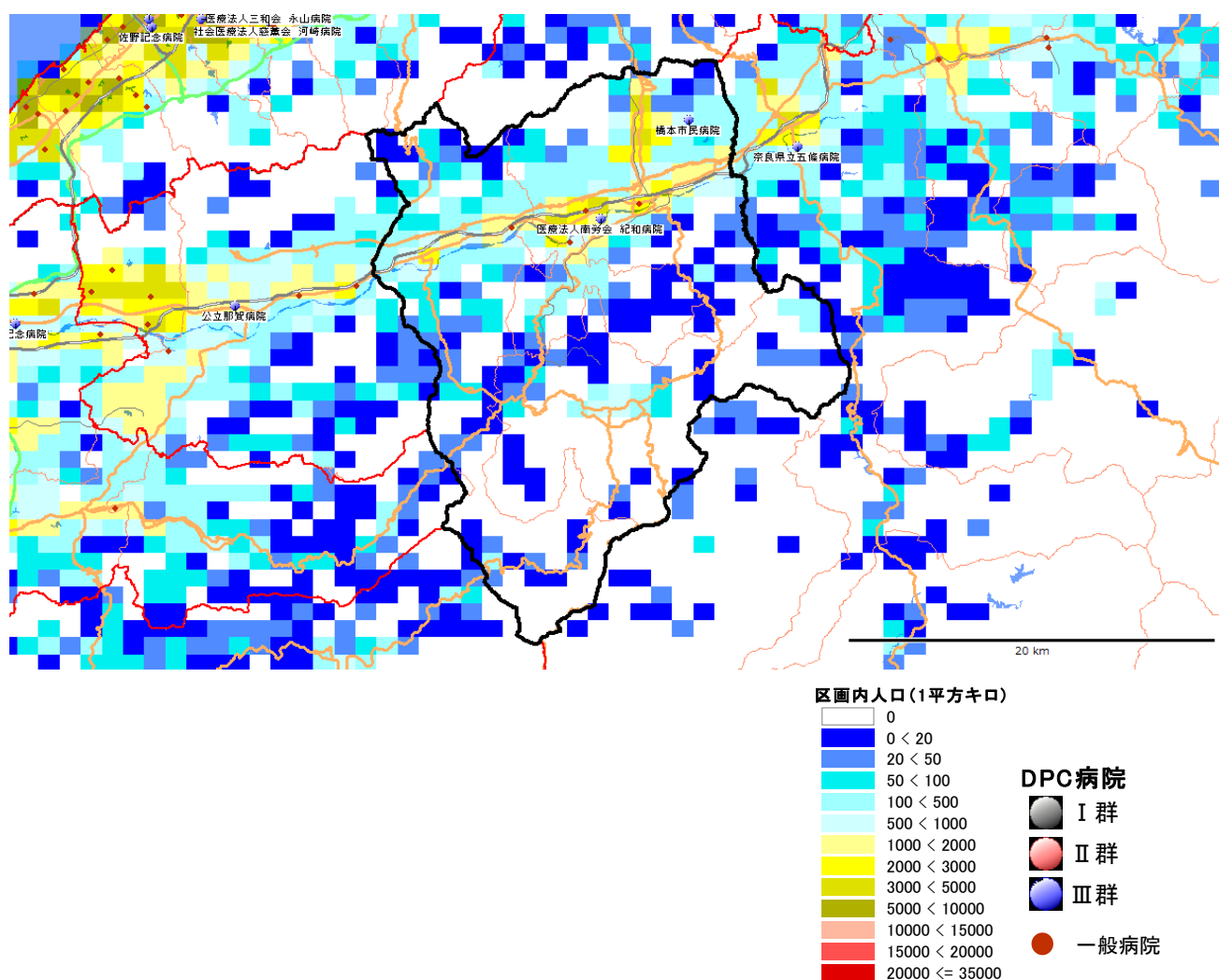


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

30-3. はしもと 橋本医療圏

構成市区町村¹ 橋本市,かつらぎ町,九度山町,高野町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 橋本医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(橋本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 橋本(橋本市)は、総人口約 89 千人(2015 年推計)、面積 463 km²、人口密度は 192 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 橋本の総人口は 2025 年に 79 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 63 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 14 千人が、2025 年にかけて 17 千人へと増加し(2015 年比+21%)、2040 年には 17 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 橋本の一人当たり医療費(国保)は 334 千円(偏差値 56)、介護給付費は 304 千円(偏差値 64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 橋本の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.89 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 44、診療所医師数 60)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 46 とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 54 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。橋本には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の橋本市民病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 41 と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 55 とやや多く、回復期病床数は偏差値 59 と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 44 で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 64 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 橋本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1217 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 957 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 260 床(偏差値 37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1178 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 57、特別養護老人ホーム 59、介護療養型医療施設 42、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 55、グループホーム 44、サ高住 46 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 67 と非常に多く、在宅療養支援病院は存在しな

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

い。介護職員（在宅）の合計は、275人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

【医療と介護の需要予測】

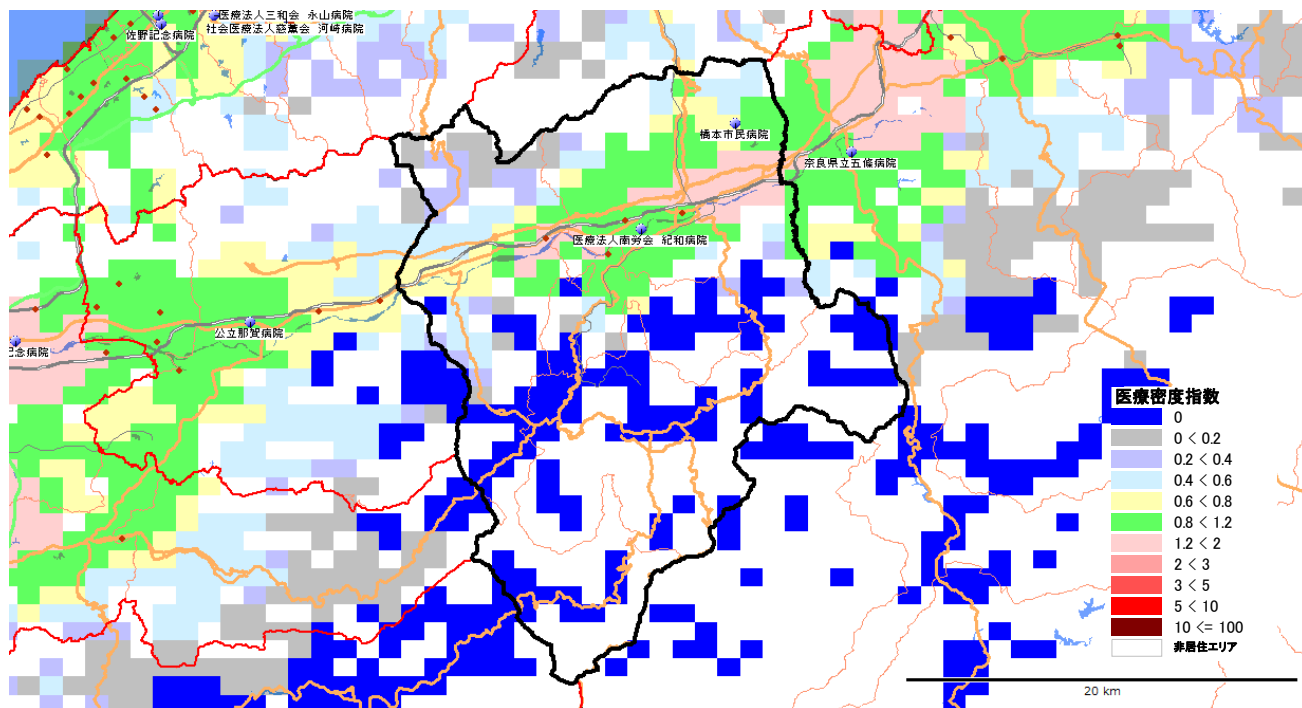
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-29%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

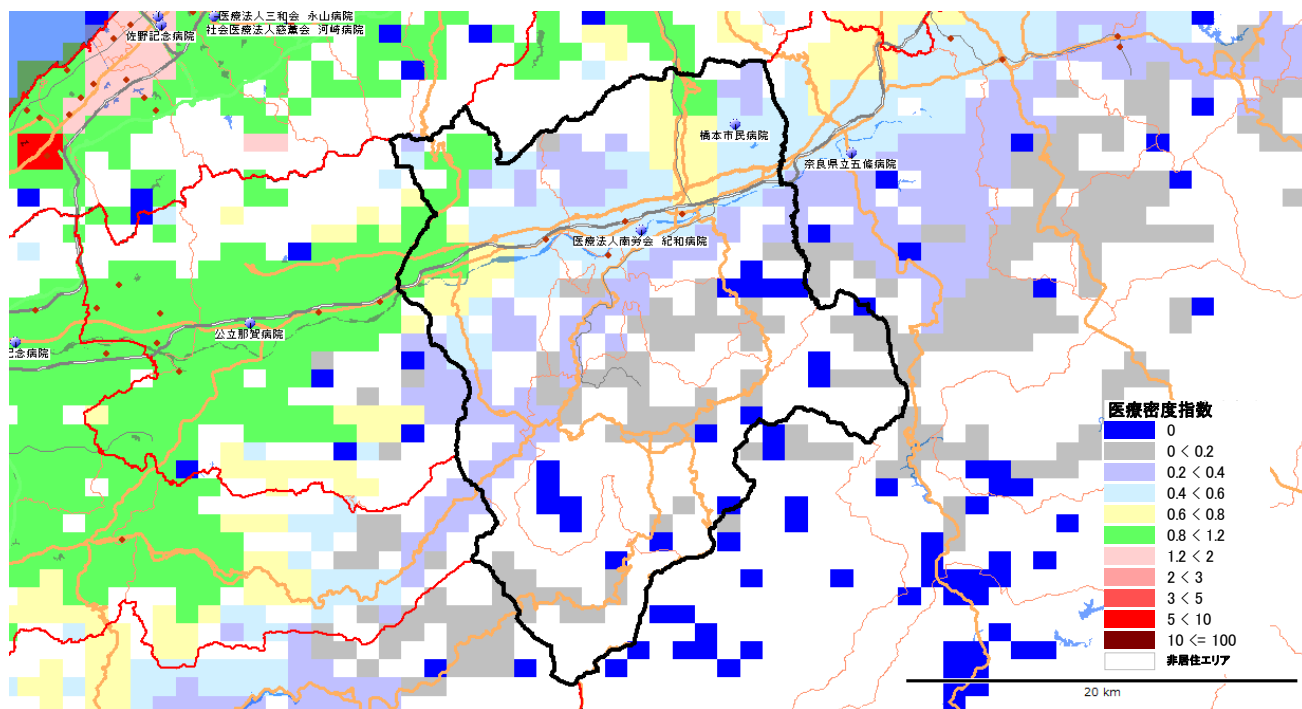
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-3-2 慢性期医療密度指数マップ

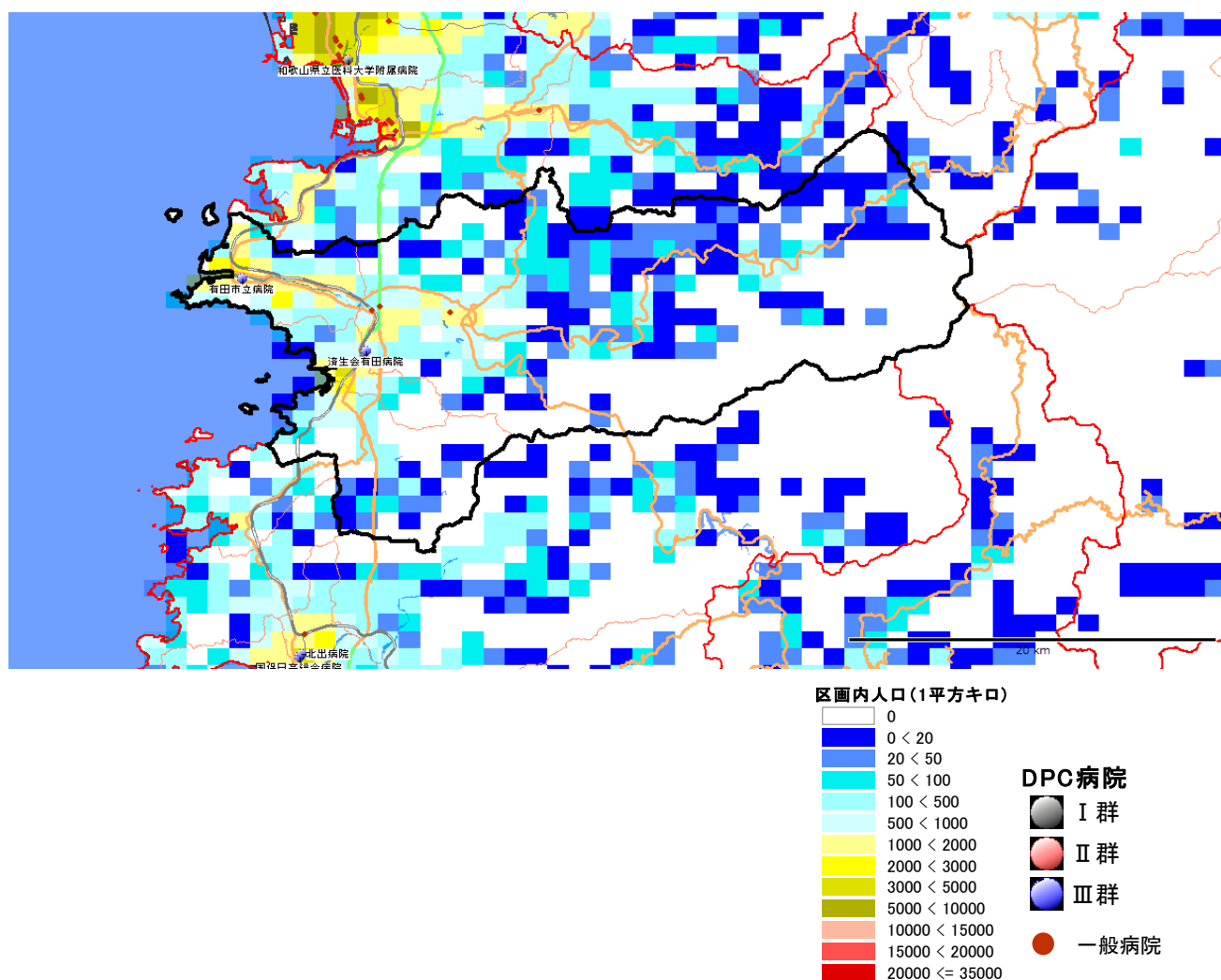


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

30-4. あ り た 有田医療圏

構成市区町村¹ 有田市,湯浅町,広川町,有田川町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 有田医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(有田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 有田(有田市)は、総人口約 74 千人(2015 年推計)、面積 475 km²、人口密度は 156 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 有田の総人口は 2025 年に 65 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 52 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 13 千人が、2025 年にかけて 14 千人へと増加し(2015 年比+8%)、2040 年には 14 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 有田の一人当たり医療費(国保)は 292 千円(偏差値 46)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 有田の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.58、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.34 で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 39、診療所医師数 53)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 47 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 42 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。有田には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 49 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 49 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 56 で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 63 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 有田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1282 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 892 床(偏差値 59)、高齢者住宅等が 390 床(偏差値 46)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1145 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 52、特別養護老人ホーム 64、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 56、グループホーム 52、サ高住 56 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 36 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 66 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、183人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

【医療と介護の需要予測】

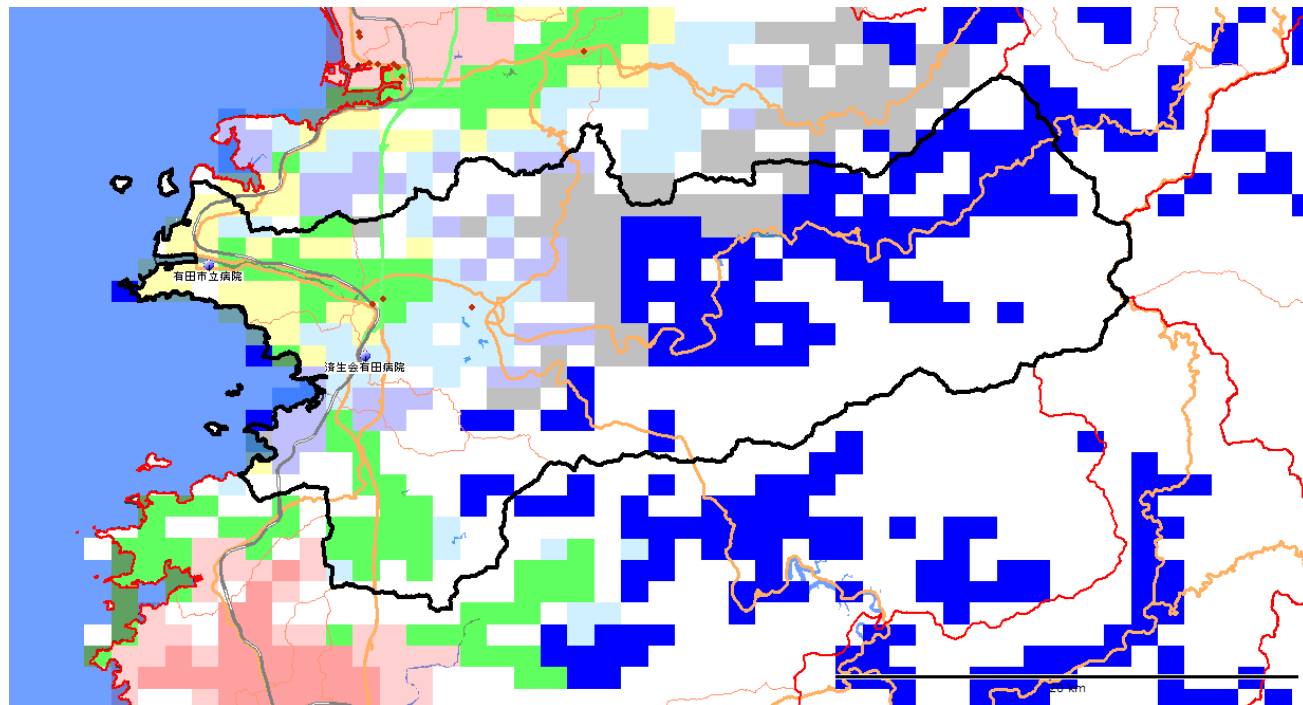
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は+12%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

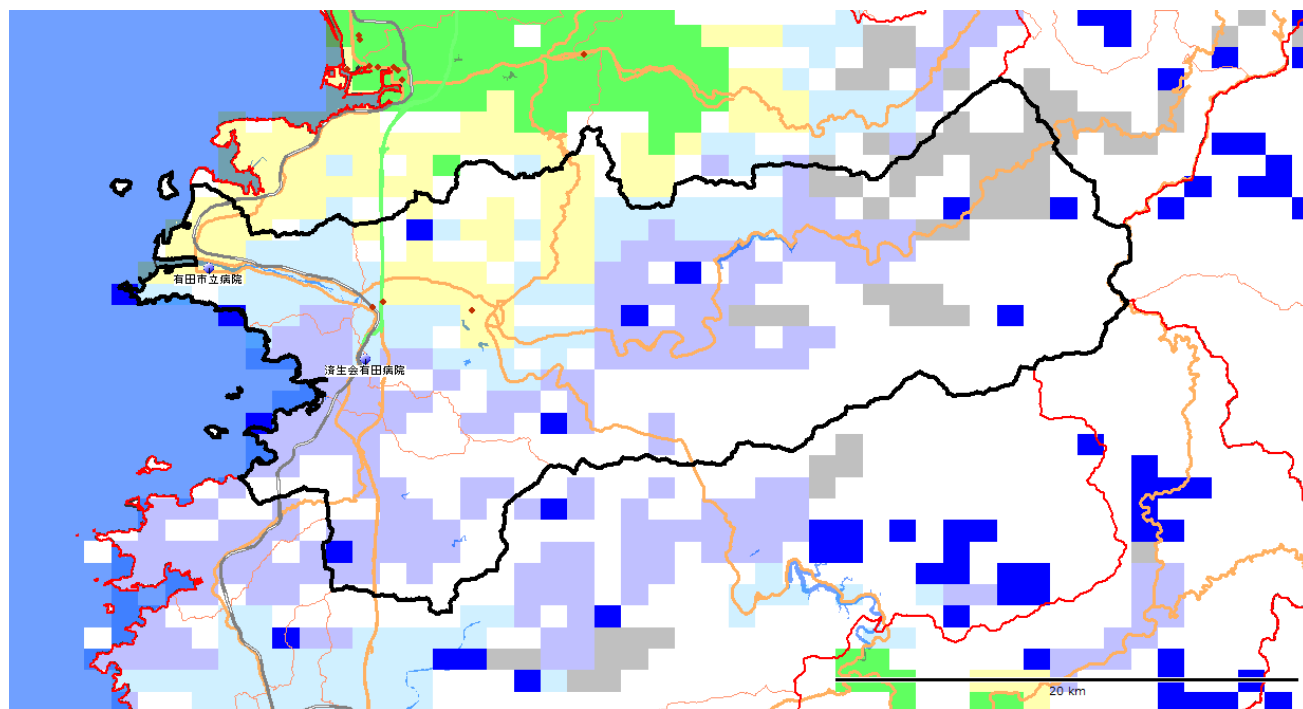
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-4-2 慢性期医療密度指数マップ

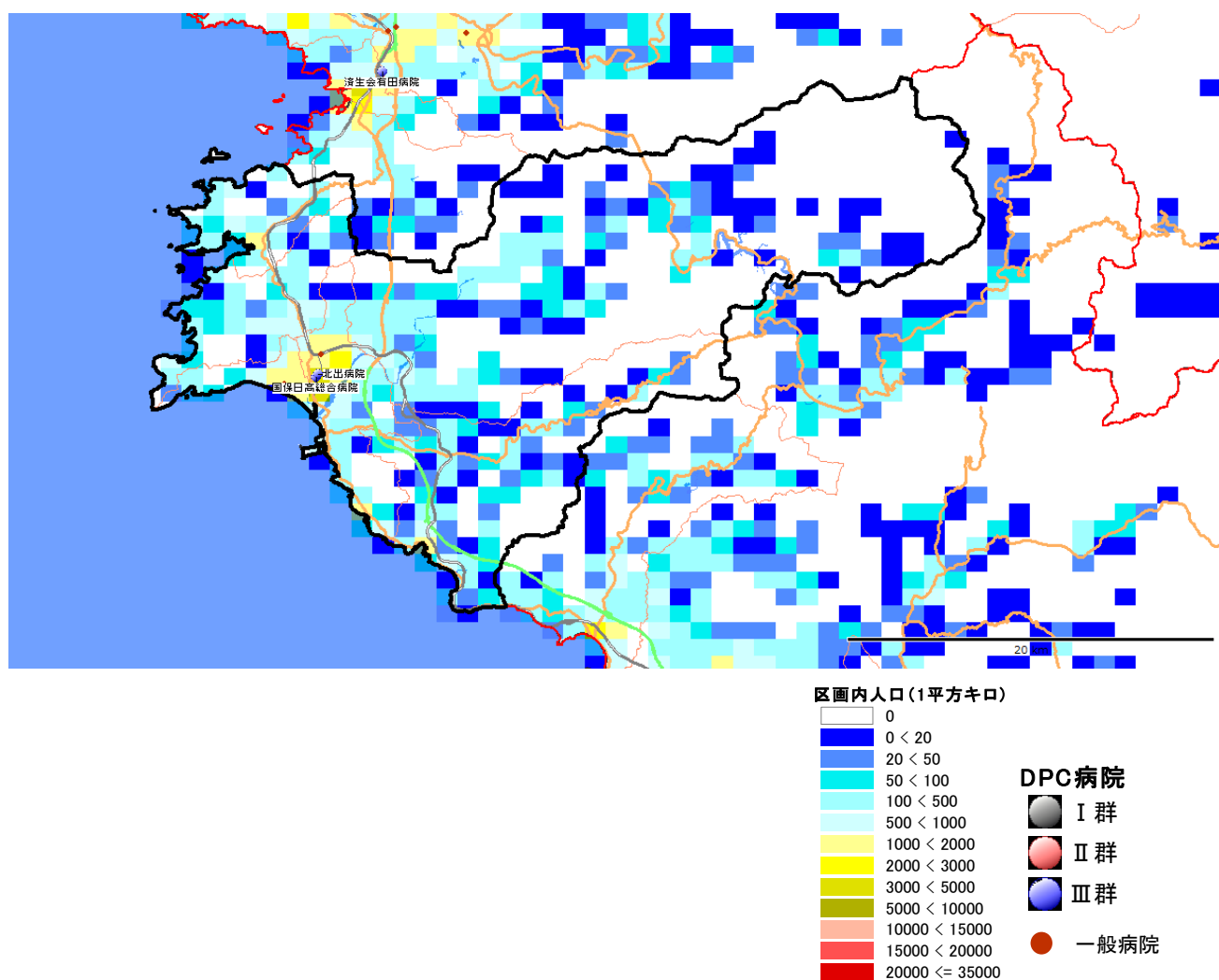


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

30-5. ごぼう 御坊医療圏

構成市区町村¹ [御坊市](#), [美浜町](#), [日高町](#), [由良町](#), [印南町](#), [日高川町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 御坊医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(御坊医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 御坊(御坊市)は、総人口約 64 千人(2015 年推計)、面積 579 km²、人口密度は 110 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 御坊の総人口は 2025 年に 57 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 47 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 11 千人が、2025 年にかけて 12 千人へと増加し(2015 年比+9%)、2040 年には 12 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 御坊の一人当たり医療費(国保)は 312 千円(偏差値 50)、介護給付費は 298 千円(偏差値 63)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 御坊の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.73、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.77 で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 46、診療所医師数 55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 58 と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 76 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 46 とやや少ない。御坊には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の国保日高総合病院がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 42 と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 60 と多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 45 で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 65 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 御坊の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1136 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 924 床(偏差値 69)、高齢者住宅等が 212 床(偏差値 38)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1115 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 68)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 57、特別養護老人ホーム 74、介護療養型医療施設 42、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホーム 67、グループホーム 47、サ高住 40 である。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 47 とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。介護職員（在宅）の合計は、162 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

【医療と介護の需要予測】

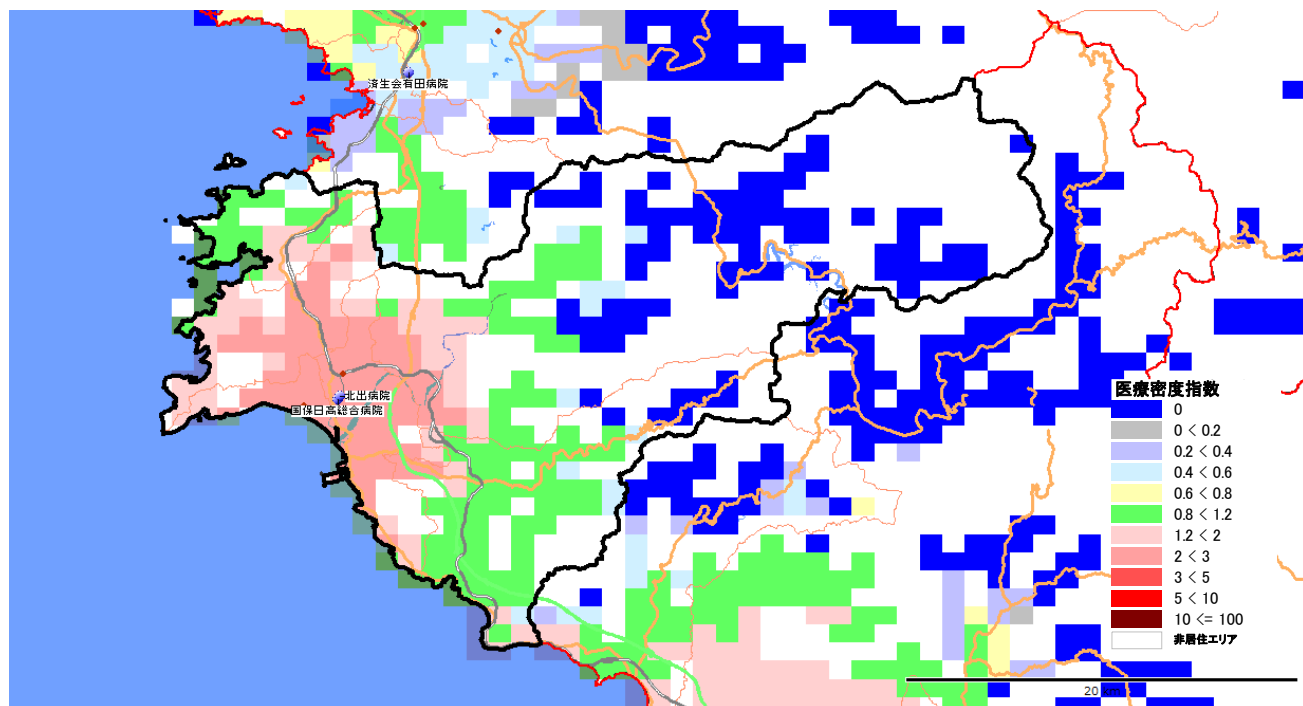
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+13%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+9%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

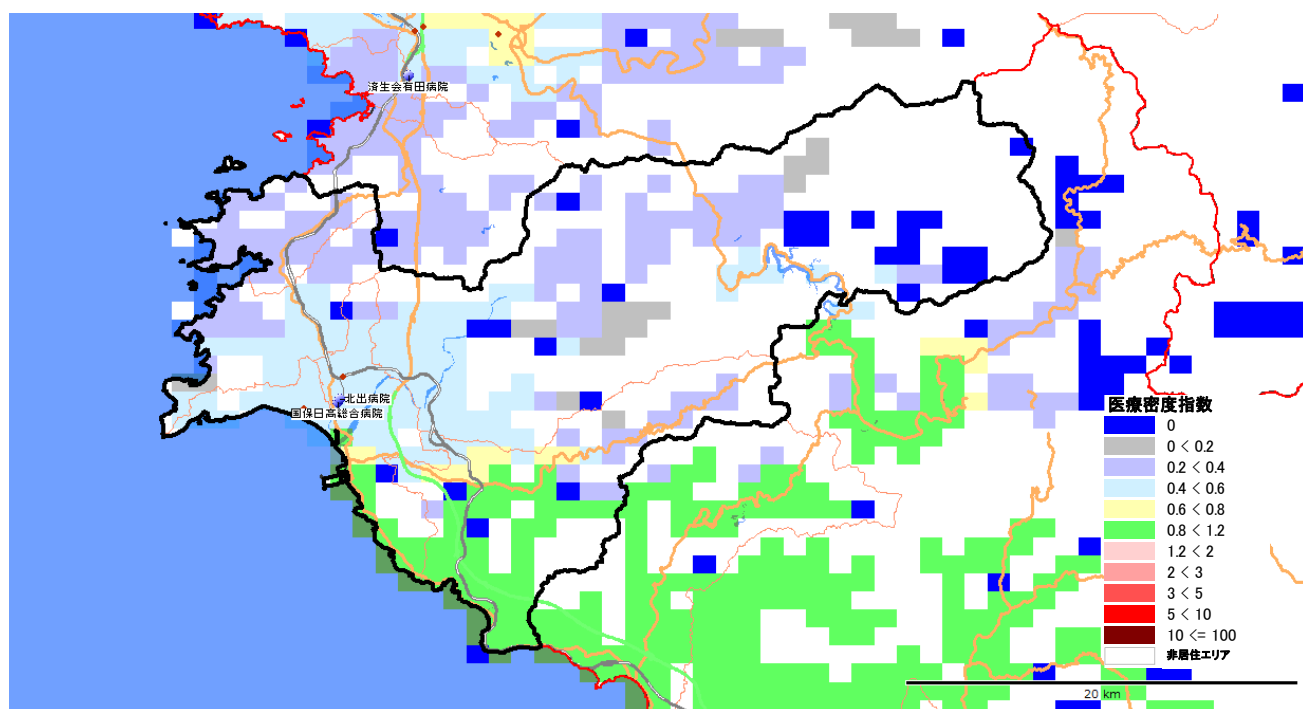
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-5-2 慢性期医療密度指数マップ

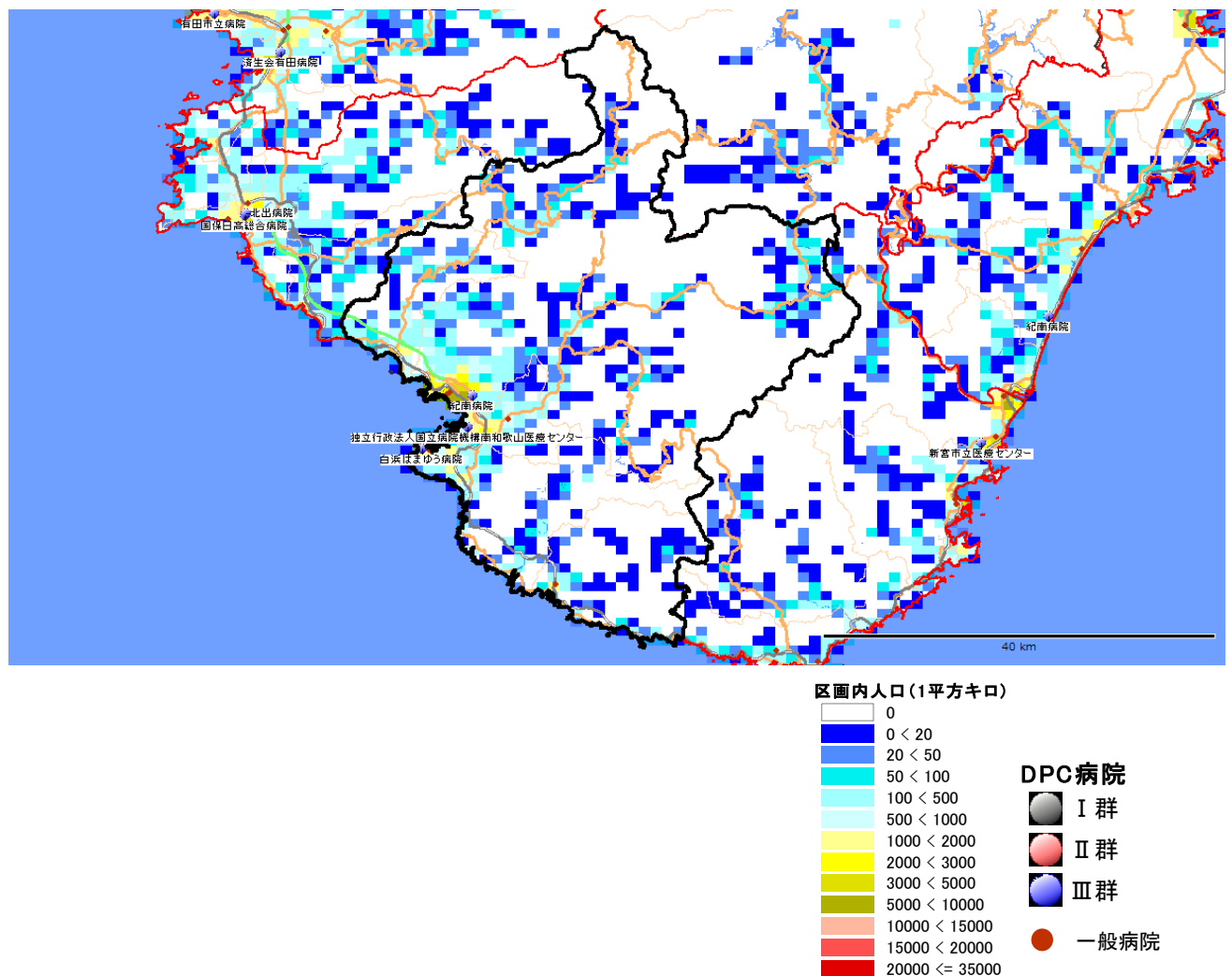


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

30-6. たなべ 田辺医療圏

構成市区町村¹ 田辺市,みなべ町,白浜町,上富田町,すさみ町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 田辺医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(田辺医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 田辺(田辺市)は、総人口約 129 千人(2015 年推計)、面積 1580 km²、人口密度は 81 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 田辺の総人口は 2025 年に 116 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 96 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 22 千人が、2025 年にかけて 25 千人へと増加し(2015 年比+14%)、2040 年には 24 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 田辺の一人当たり医療費(国保)は 277 千円(偏差値 42)、介護給付費は 306 千円(偏差値 65)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 田辺の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.91 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 49(病院医師数 47、診療所医師数 52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 54 とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。田辺には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の紀南病院、500 例以上の南和歌山医療センター(救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 58 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 53 とやや多く、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 47 で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 61 で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 田辺の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2214 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1621 床(偏差値 61)、高齢者住宅等が 593 床(偏差値 43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1851 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 56、特別養護老人ホーム 56、介護療養型医療施設 63、有料老人ホーム 40、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 46、サ高住 55 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 42 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 47 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

やや少ない。介護職員（在宅）の合計は、576人(75歳以上1000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

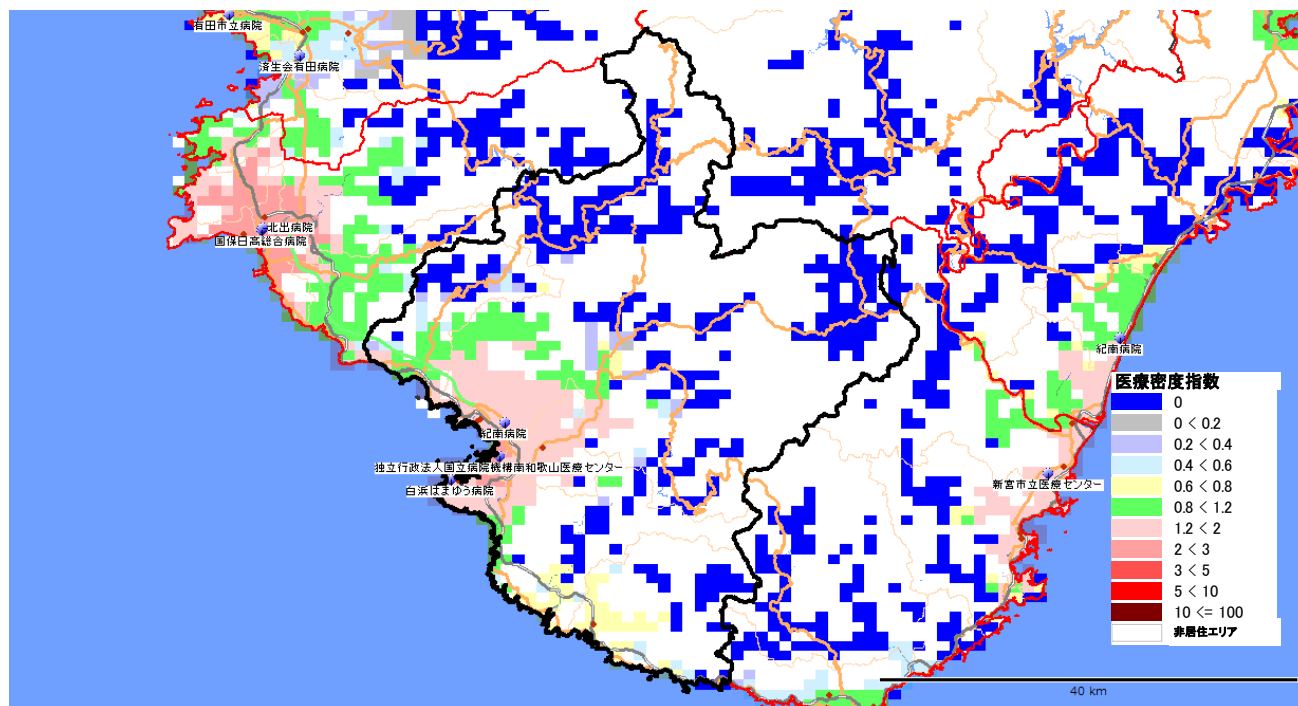
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

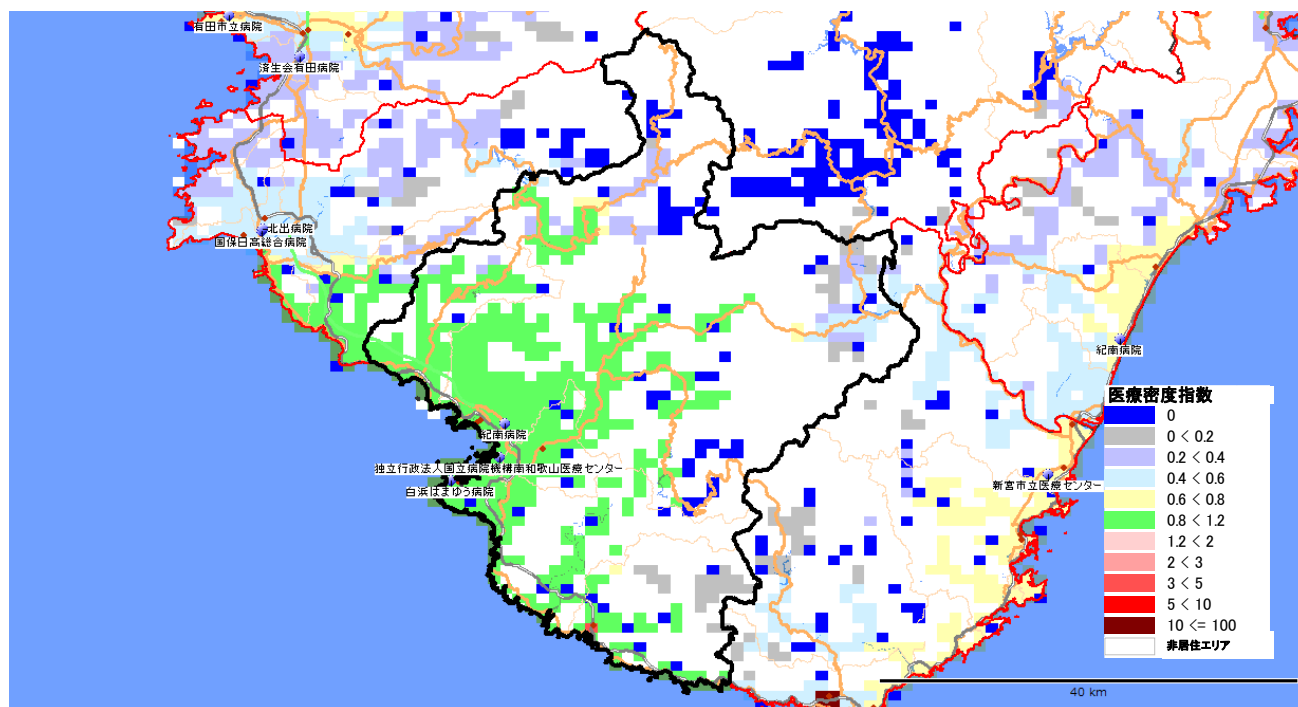
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-6-2 慢性期医療密度指数マップ

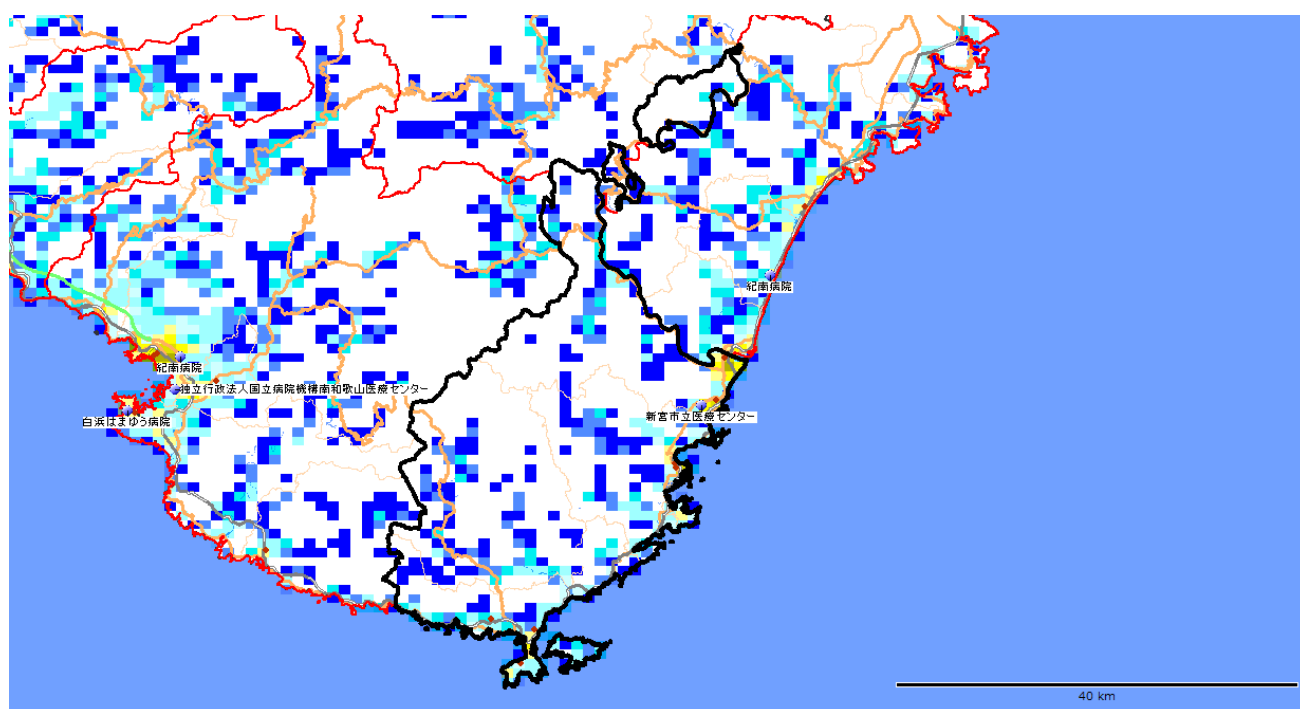


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

30-7. しんぐう 新宮医療圏

構成市区町村¹ [新宮市](#),[那智勝浦町](#),[太地町](#),[古座川町](#),[北山村](#),[串本町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



区画内人口 (1 平方キロ)



DPC 病院



● 一般病院

¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 新宮医療圏を 1 km²区画 (1 km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000 人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000 ~10,000 人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000 人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査 (平成 22 年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(新宮医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 新宮(新宮市)は、総人口約 68 千人(2015 年推計)、面積 923 km²、人口密度は 74 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 新宮の総人口は 2025 年に 58 千人へと減少し(2015 年比-15%)、2040 年に 43 千人へと減少する(2025 年比-26%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 15 千人が、2025 年にかけて 16 千人へと増加し(2015 年比+7%)、2040 年には 13 千人へと減少する(2025 年比-19%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 新宮の一人当たり医療費(国保)は 342 千円(偏差値 58)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 新宮の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.09、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.28 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 50(病院医師数 48、診療所医師数 54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 55 とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。新宮には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の新宮市立医療センターがある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 64 と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 46 とやや少なく、回復期病床数は存在しない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 60 で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 66 で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 新宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1125 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 962 床(偏差値 56)、高齢者住宅等が 163 床(偏差値 32)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1182 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 48、特別養護老人ホーム 59、介護療養型医療施設 49、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 42、サ高住 38 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、461人（75歳以上1000人当たりの偏差値84）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

【医療と介護の需要予測】

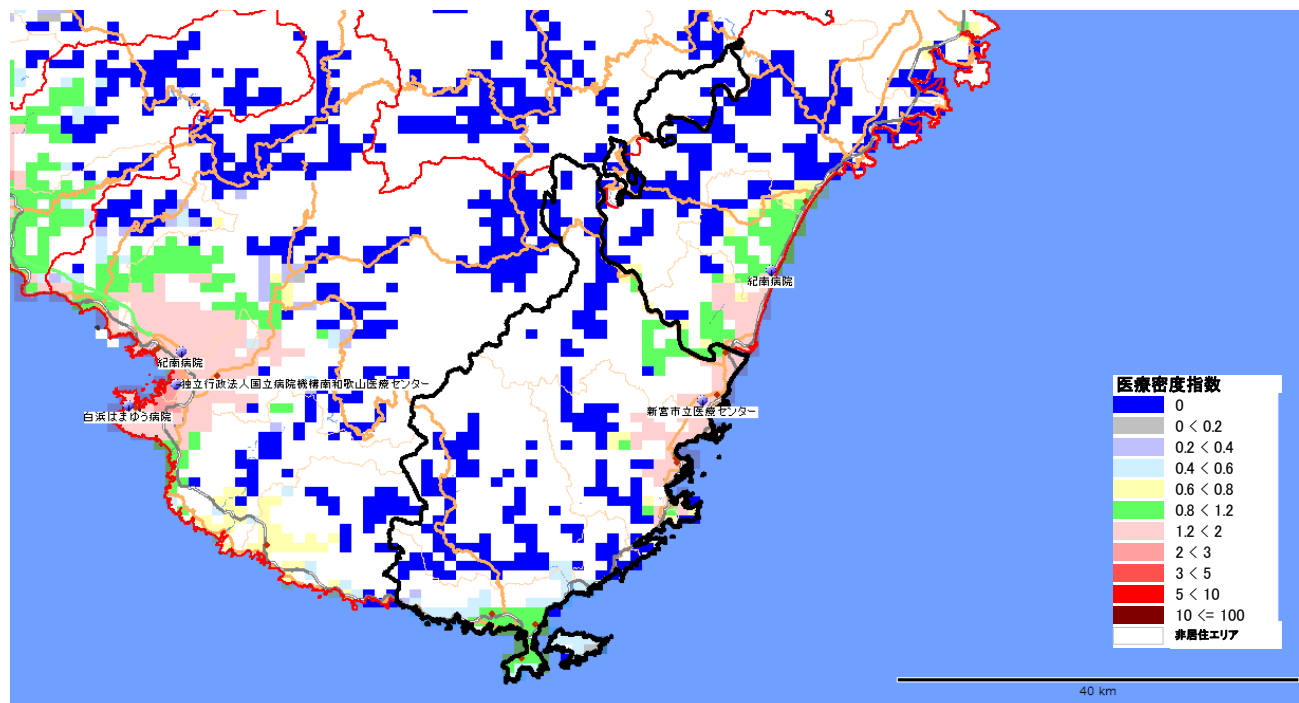
***介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数⁴は-14%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-4%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

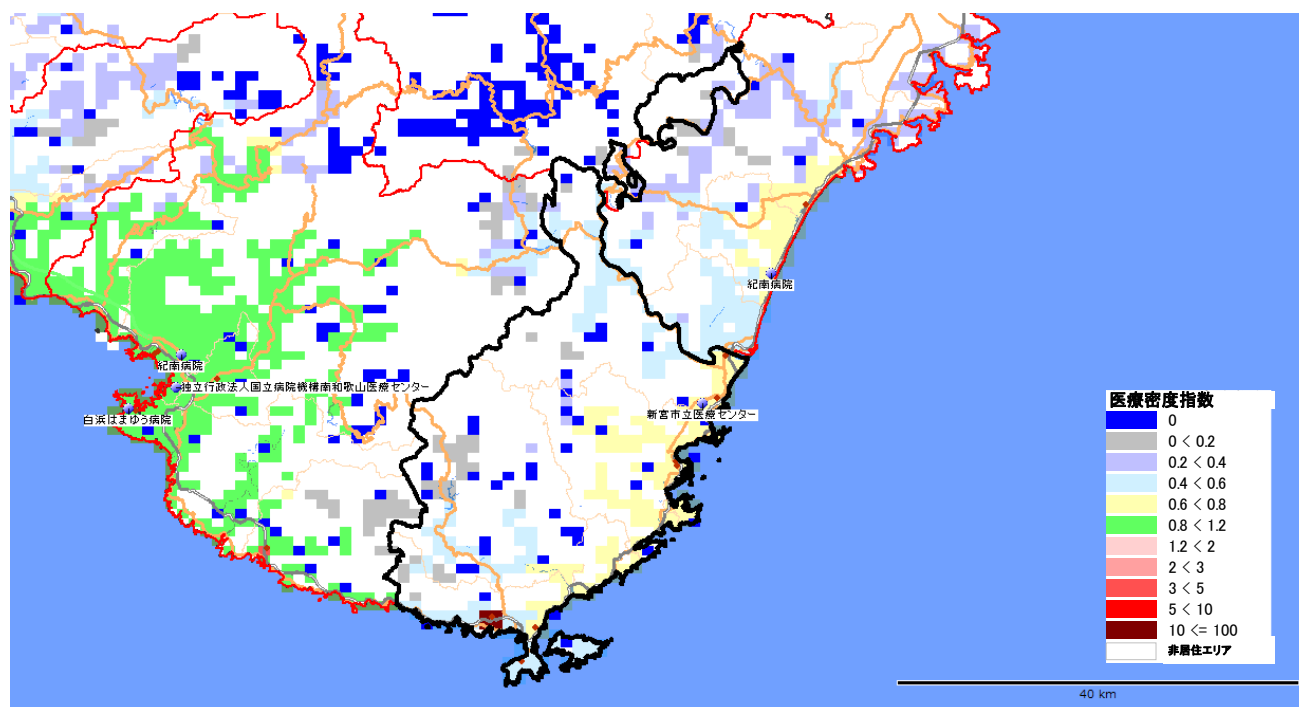
30. 和歌山県

2. 医療密度⁵

図表 30-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 30-7-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。